

# 2022年度事業計画書

法人の名称 NPO法人UAPACAA国際保全パートナーズ

## 1 事業活動方針

カメルーン、ブータン、およびコンゴ民主共和国（DRC）の連携先と自然保護プロジェクトを推進する。

- ・国際協力のための寄附を、連携先の現場に届けるとともに技術支援を行う。
  - ・国際協力に資する助成金・補助金に積極的に応募し、現場支援の基盤強化につなげる。
  - ・新型コロナウイルスの予防、治療に効果が期待され、かつアフリカでも精製可能な汎用性があるプロポリスを中心に、前期に引き続き連携先と協働で活用できる伝統生薬の解析を進める。アフリカやアジアの生物多様性保全上の重要地に関する、HP 等を通じた情報発信を活発に行い、国際保全活動の普及啓発に貢献する。
- 国際的な自然保護活動に貢献でき、また当NPO法人の活動活性化に繋げられる若手人材をリクルート・育成する。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 自然保護におけるポスト・コロナ対策事業

<内 容>

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが国際協力対象の現地プロジェクトに与える影響をモニターし、必要な対策（具体的内容の一つは前述のプロポリスの現場での実用化）を立てる

- ・日 時 通年
- ・場 所 カメルーン（・DRC）の活動現地及び関係各地
- ・従事者人員 2人（現地 NGO・国立公園当局・大学研究者と協働）
- ・受益対象者 国立公園スタッフ約50人と周辺域のコミュニティ約千人、またドゥアラ大学関係の共同研究者
- ・支出見込額 4,806,000円（三井物産環境基金等、経年の民間助成金取得を目指す）

#### ② アフリカ熱帯雨林の保全と野生動物保護支援に関する事業

##### ア カメルーン共和国南東部州の大型類人猿と生物多様性の保全活動

<内 容>

##### 1. ロベケ国立公園の大型類人猿エコツーリズム復興支援

ポスト・コロナにおける、ゴリラとチンパンジーのエコツーリズム戦略を検討する

- ・日 時 通年
- ・場 所 カメルーン共和国南東部州ロベケ国立公園
- ・従事者人員 2人（現地 NGO・国立公園当局と協働）
- ・受益対象者 国立公園スタッフ約50人、及び周辺域のコミュニティ約1000人
- ・支出見込額 1,950,000円（2021年からの現地活動の延長繰り越し予算分含む）

##### 2. ロベケ国立公園生物多様性モニタリング

国立公園内にある7カ所の観察施設での定点観測と結果分析の継続

- ・日 時 2022年4月開始予定
- ・場 所 カメルーン共和国南東部州ロベケ国立公園
- ・従事者人員 1人（インターン生、現地 NGO・国立公園当局と協働）
- ・受益対象者 国立公園スタッフ約50人、及び周辺域のコミュニティ約1000人

- ・支出見込額 3,420,000 円

### 3. 国際武装集団によるゾウ密猟対策への支援

ロベケ国立公園パトロール機材購入やレンジャーの生物多様性保全研修機会提供など

- ・日 時 通年
- ・場 所 カメルーン共和国南東部州ロベケ国立公園と周辺域
- ・従事者人員 1人（インターン生、現地 NGO・国立公園当局と協働）
- ・受益対象者 国立公園スタッフ約50人、及び周辺域のコミュニティ約18000人
- ・支出見込額 2. の支出額に含まれる

### イ コンゴ民主共和国（DRC）マイ・ンドンベ州ボロボ郡におけるボノボの保護活動

#### ・内 容

#### 1. ボノボ生息域における生物多様性保全・再生にかかる研究と実践

コロナ禍におけるボノボ・エコツアーの展開可能性を検討する

- ・日 時 通年
- ・場 所 マイ・ンドンベ州ボロボ郡バリ地区
- ・従事者人員 1人（インターン生、現地団体と協働）
- ・受益対象者 バリ地区コミュニティの約1000人
- ・支出見込額 5,039,000 円（地球環境基金の2年間の助成金含む）

#### 2. ボノボ生息域に居住するコミュニティの地場産業開発を通じた生物多様性保全 バリ地区のコミュニティのブッシュミート消費を減らし、ゾウと人の軋轢を軽減

- ・日 時 2022年4月開始予定
- ・場 所 マイ・ンドンベ州ボロボ郡バリ地区
- ・従事者人員 1人（インターン生、キンシャサ大学や現地 NGO と協働）
- ・受益対象者 バリ地区コミュニティの約1000人
- ・支出見込額 2,354,000 円（クラウドファンディングや指定寄附獲得を目指す）

### ③ 南アジアの亜熱帯林保全と野生動物保護支援に関する事業

#### ア ブータンの生物多様性保全、特に南部国境地帯を生息地とするアジアゾウ保護

#### ・内 容

#### 1. TraMCA ランドスケープにおける人とアジアゾウの衝突回避に向けた支援

- ・日 時 通年
- ・場 所 ブータン南部ロイヤル・マナス国立公園その他保護区の周辺域
- ・従事者人員 1人（現地 NGO・国立公園当局と協働）
- ・受益対象者 TraMCA の保護区スタッフと周辺域のコミュニティ約1000人
- ・支出見込額 500,476 円（収益事業）

### (2) その他の事業

#### ① 書籍の出版・販売

今期は海外活動のコロナ禍からの復興を中心に、臨機応変な活動の展開が必要になると予想され、その対応を優先するためにその他の事業は行わない予定。